

令和4年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」島守中学校区実践計画書(案)

事務局 島守中学校 (担当: 教頭 須藤 修生)

1 主題 (2/2年次)

主体的な学びから深い学びを実現するための小中連携の在り方
～ 児童生徒が自ら学び、自ら発信する授業づくりをめざして ～

2 主題設定の理由

島守中学校区では前年度まで「主体的・対話的で深い学びを実現するための小中連携の在り方～児童生徒が自ら学び、自ら発信する授業改善を目指して～」を研究主題として様々な取組を実施してきた。成果として以下の3点があげられる。

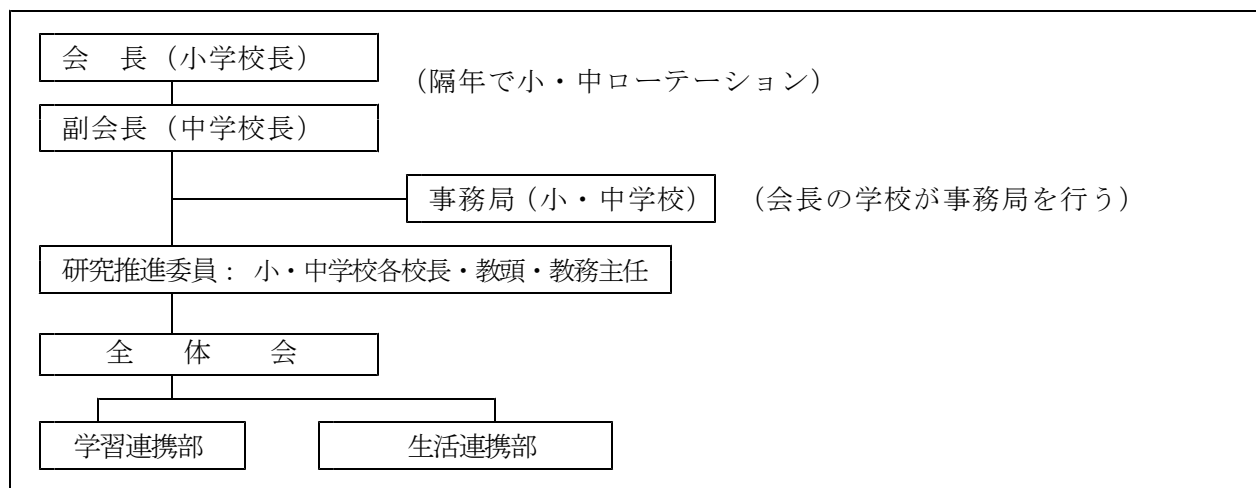
- (1) 「ICT機器の活用」や「授業の流れの見える化」「板書の工夫」を行うことにより授業改善ができた。
- (2) 小学校では「プログラミング教育」を積極的に実践し、授業内容を充実させた。
- (3) 特色ある教育活動(小学校は田植え、収穫感謝祭等。中学校は農業経営を軸とした学習。通称:スマ中ファーム)を展開しながら、主体性を育むことにつながった。

今年度からの研究主題については小学校の学校目標の「確かな学力の育成」をベースに主題設定をした。島守中学校区では9年間を見通し、学習や行事の目標等を設定しているため、主体的な学びの振り返りをしながらより深い学びへ結びつけようと小・中学校ともに共通の課題として、これまでも取り組んできている。また、教職員のめざす授業については大きく変えず、引き続き一人一人の児童生徒が、もっている力を十分に発揮し、本気で取り組むことができる授業をめざしたい。そのために、「児童生徒が主役となる授業」「自ら学び共に学ぶ授業」「児童生徒の発信型の授業」の3点を柱として、主題に迫りたい。

R 4年度 島守中学校区において児童生徒に係わる取組場面 (授業以外において)

- | | | |
|----------------------------|---|--------------------------------------|
| ①島守小・中学校大運動会 (5月実施) | } | ①～④以外では小中JSとして授業参観や小中職員間の情報交換の実施を予定。 |
| ②中学校文化祭 (小学生が中学校に来て活動を見る場) | | |
| ③小学校学習発表会 (中学生が舞台運営をサポート) | | |
| ④地域が主催する行事に小・中学生がともに参加 | | |

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

島守中学校区 重点指導項目	
<input type="checkbox"/> 規則正しい生活をする。(早寝、早起き、朝ご飯)	⇒基本的な生活習慣
<input type="checkbox"/> 場に応じたあいさつや受け答えができる。(あいさつ・受け答え)	⇒人間関係の形成
<input type="checkbox"/> 予習・復習・読書など家庭学習に計画的に取り組むことができる。	⇒家庭との連携
<input type="checkbox"/> ゲーム機器とネット利用の時間ときまりを守ることができる。	⇒判断力の形成
<input type="checkbox"/> 交通事故を防ぐための行動をとることができる	⇒判断力の形成